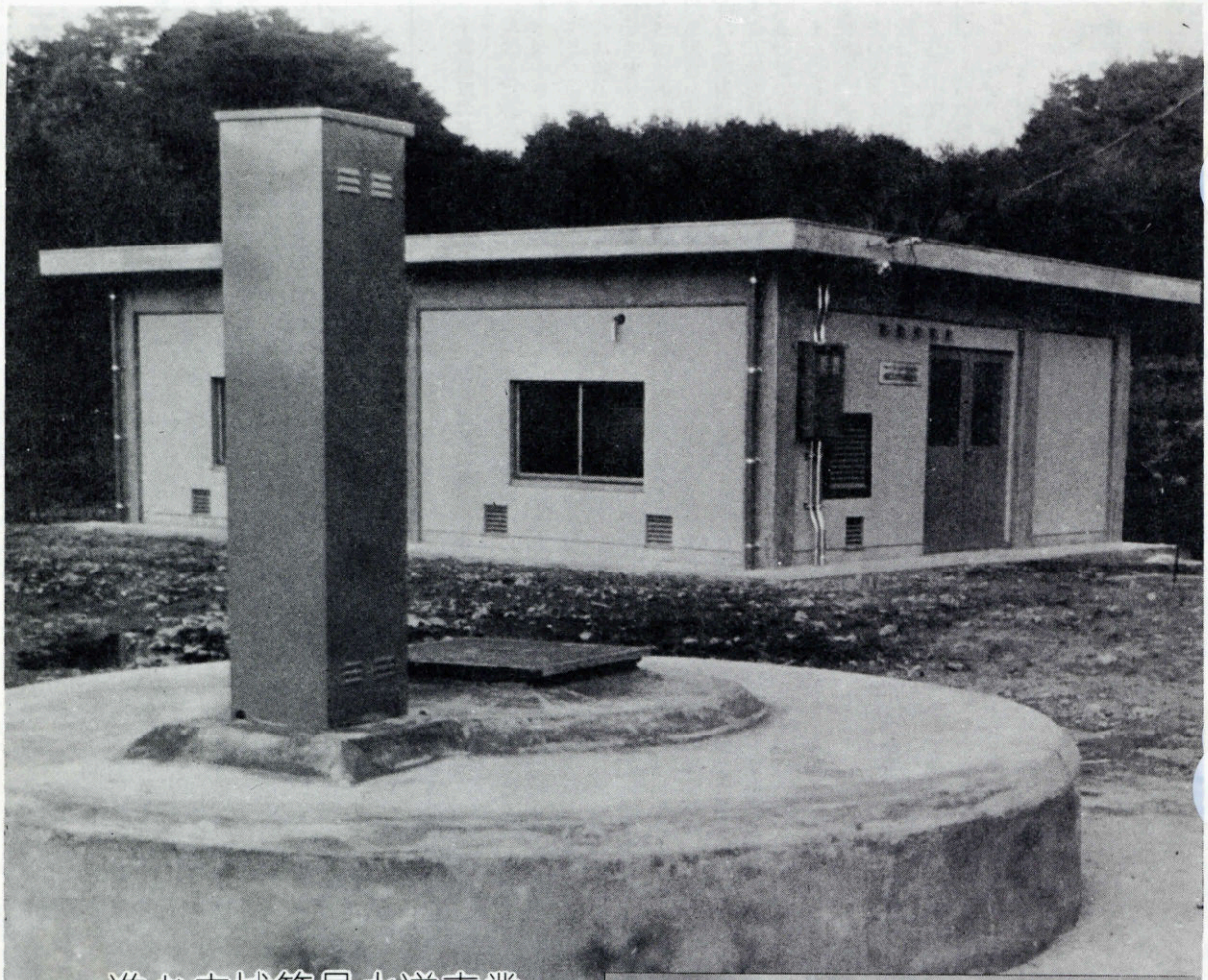
広報 ゆや

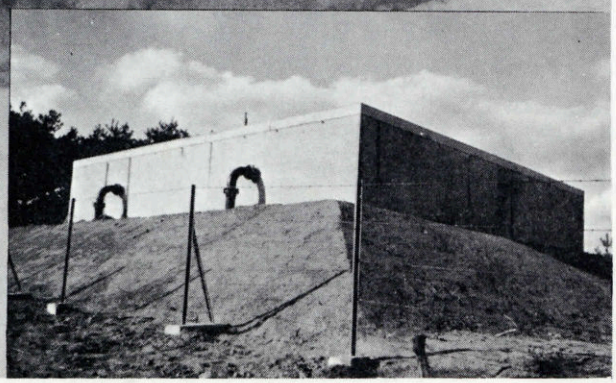
76
51
4.1
No. 164
発行　油谷町役場
印刷　粟野印刷ＫＫ



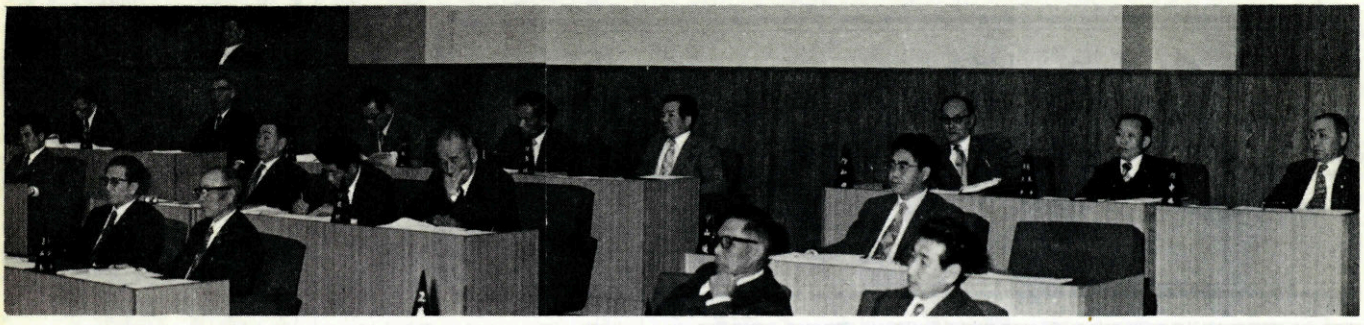
進む広域簡易水道事業

生活用水の確保を目的として進めているこの事業も(株)フジタ工業の施工で大坊川筋に集水井、ポンプ室、新別名字黒ケ原に配水池が完成、近く人丸簡水に直結、送水開始の予定です。

写真上はポンプ室、中央は集水井、右下は配水池。



（とじて保存して下さい）



五一年度予算について

一般会計一五億八千余万円と特別会計約八億九千万円にのぼる新年度予算について、去る三月一二日提案し、二週間にわたり議会の慎重な審議をうけて、議決を得ましたので、ここにその大綱を発表して、住民各位のいっそうのご協力をお願いするものであります。

油谷町長　松　永　對　介

予算編成の基本方針

現時点において、昭和五一年度を予測することは誠に困難でありますが、依然として続いております経済的不況と、突如として表面化して参りました政情不安は、地方自治体の予算編成にも極めて深刻な影響を及ぼしておりまして、きびしい財政事情にあると言えますが、国も積極的に景気浮揚策を執る方針でありますので、町としても、この方向で、つとめて財源を見出し、各種の事業を推進いたしたいと考えております。

一般会計におきましては、対前年比三三・一%。特別会計において四〇・九%の増で予算編成をいたしましたが、各種公共事業につきましては、国・県と基調を同じくしながら、乏しい財源ではありますが、町の基幹産業の育成には十分意を注ぎ、重要かつ緊急を要する事業については、起債等も積極的に導入しながら、可能な限り実施してゆく考えであります。

油谷湾地域の保全開発

油谷湾地域の保全開発については、過去二ケ年にわたり調査が実施され、昨年九月その報告書が刊行されました。この中から、私どもに最も身近かな、地すべり対策を中心として、漁村の環境整備・浅海増殖・地すべり対策跡地の農地利用など、複合的な事業実施について、国・県に強く要望しておりますので、いづれ、具体的調査等の運びに至ることを期待しておりますので、各位のより一層のご協力をお願いいたします。

総合農政の推進に全力を

昨年構想を新たにして再組織いたしました総合農政推進協議会には、農家各層の方の参加をいただいておりますので、転換著しい農政に適確に対応し、新しい農業の進む道を打ち立てることが出来るよう全力を注ぐ考えであります。また、旧菱海村を除く地域の特定農山村振興対策事業、久富地区有宗から長門市俵山に通ずる基幹林道とともに、五一年度から事業実施となりますので、農林業基盤の整備も前進すると期待しております。

更に畜産については、今後も生産に重点を置いて参る考えであり、近時猛威をふるっております松くい虫の防除には、ヘリコプターによる薬剤撒布により、より効果を挙げたいと考えております。

湾内に大型幼稚仔保育場を

第五次漁港整備計画の仕上げの年次であり、第二次構造改善事業実施等、かってない大型予算となっておりますが、五二年度以降の第六次整備と合わせて、各漁港の面目を一新し、湾内二ケ所に四〇〇〇万円を投じて幼稚仔保育を目的として魚礁を設置するなど、合わせて水産業の振興に力を注いで参る考えであります。

景気浮揚に町として努力

不況脱出の策は、言うべくして困難な面が多いのでありますが、町としては、公共事業の早期発注、融資のあっせんなどで、可能な限り対応して行く考えであります。

渡船建造で海の足を確保

江の島丸は、向津具地区の方々の海の道路として活躍して参りましたが、船令一四才の老朽船で、万一の海難も予測されますため、今年度、思い切って新船を建造しこれまで以上に安全に、皆さんの利用に供したい考えであります。

道路の舗装整備は勿論でありますが、大型農道との連絡町道の改良施工、又県道掛渕バイパスも六月ごろ完成いたしますので、町内の道路事情も一段と好転するものと期待しております。

渡場保育所を移転新築

福祉関係については、重点的見直しの年になると思いますが、重度心身障害児等の収容施設を、近隣市町村と協力して北浦地方に設置方を推進して行く考えであります。医療給付も安定の傾向に在り国保の保険料も料率を据置いての予算内で、保健婦を一名増員、町環境衛生推進協議会の強化と合わせて、環境浄化と予防面に力を注ぐ心算であります。渡場保育所については、その老朽と運動場が拡張困難でありますので、旧石原校跡地に移転新築する考えであります。

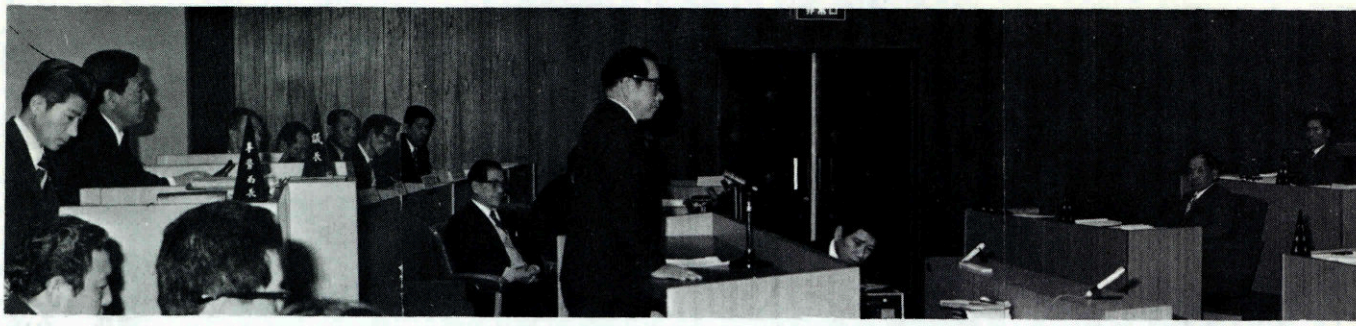
広域簡水の事業推進を

五〇年度から着工の広域簡易水道事業の正念場の年で、全体計画の三分の一近い事業量を一気に仕上げる年にしたい計画でありますが更に土木事業・環境整備と関連しますが、五人以上の共同施行である排水路工事に対し、一定工費内の三〇%を限度として補助する制度を新設し、密集地区における環境浄化に役立てて参りたい考えであります。

伊上小の屋体建設

産業面と共に最も細心な配慮をした教育費においては、伊上小の屋体建築と菱海中・向津具中の校舎改修を実施いたしますが、これと併行して芝崎グランドの改修も実施し、学校教育・社会教育いづれの面もより充実した施設をと念願しております。

以上、本年度予算の概要について述べましたが、あくまでも住民各位の付託に応え、より効果的な行・財政運営に努力いたす所存でありますので、なお一層のご支援ご協力を要請するものであります



総額15億8420万円（一般会計）の新年度予算額決まる

昭和51年度第1回定例町議会は、去る3月12日開会
総額15億8420万円にのぼる一般会計予算案の外、上程された
重要案件について慎重な審議が行われ、同月25日提案された
議案につき原案どおり可決され閉会となりました。

昭和51年度 一般会計当初予算款別構成比

歳入

（単位千円）

款	本年度予算額	構成比率
		%
1 町税	174,823	11.04
2 地方譲与税	16,300	1.03
3 自動車取得税交付金	24,600	1.55
4 地方交付税	633,800	40.01
5 交通安全対策特別交付金	600	0.04
6 分担金及び負担金	30,648	1.93
7 使用料及び手数料	5,710	0.36
8 国庫支出金	281,716	17.78
9 県支出金	210,565	13.29
10 財産収入	7,841	0.49
11 寄附金	400	0.02
13 繰越金	5,000	0.32
14 諸収入	10,097	0.64
15 町債	182,100	11.50
歳入合計	1,584,200	100.00

歳出

（単位千円）

款	本年度予算額	構成比率
		%
1 議会費	34,148	2.15
2 総務費	228,299	14.41
3 民生費	279,868	17.67
4 衛生費	62,972	3.98
6 農林水産業費	356,615	22.51
7 商工費	10,018	0.63
8 土木費	151,972	9.59
9 消防費	52,262	3.30
10 教育費	209,526	13.23
11 災害復旧費	112,016	7.07
12 公債費	84,576	5.34
13 諸支出費	2	0
14 予備費	1,926	0.12
歳出合計	1,584,200	100.00

昭和51年度特別会計予算

（単位千円）

国民健康保険事業特別会計	378,777
簡易水道事業特別会計	381,932
渡海船事業特別会計	84,732
学校給食特別会計	40,255
交通災害共済事業特別会計	3,592

第四年次を迎えた 地籍調査事業

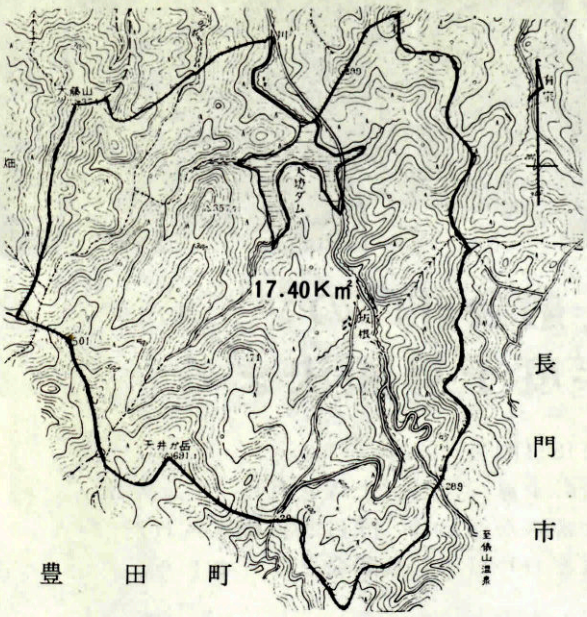
町では、四八年度から九ケ年計画で地籍調査事業を継続実施しており、九一七二ヘクタールの地理面積に対し、二六二〇ヘクタール（伊上、新別名全域及び河原北部）の調査測量を終り、本年度は、河原南部（大坊ダム以南残り全域）一七四〇ヘクタールの地籍調査を実施することになりました。

特に、本年度は、大半を森林で占め、その境界の伐開作業が実施地区土地所有者にとって大変なことと思いますが、積極的なご協力を切にお願いいたします。

山林の伐開に当っては、隣接者と共に実施し、伐開は八月下旬完了をメドに今から作業をすすめておいてください。合筆、分筆、地目変更、私設道路の開設、拡幅等に関する事項、その他の相談については、総合企画課地籍調査係で受付けております。遠慮なくお気軽に申し出てください。

なお、測量は近代的な精密測量で、筆界点の復元が可能な精度をもっていますので、新らたに設置する三角点、多角点杭の移動、抜取事故のないよう格別のご配慮をお願いします。

昭和51年度地籍調査実施区域図



明るい選挙を推進しよう

最近における国際情勢や国内の社会経済情勢がひとしお不安を高めつつある中で、本年は七月執行の海区漁業調整委員選挙、引続き秋の県知事選挙、衆議院議員選挙等が行われる予定であり、政治運動も活発化の様相をあらわすものと思われます。

そこで、わたくしたちは過去に行われた選挙の反省も含め、有権者の一人として、今から選挙についてじっくり考える必要があると思います。

(1)選挙は、なぜ行われるか。

それは、わたくしたちに参政権があるから、自分の意志を政治に反映させるため、自分の代表となる人を、候補者のうちから選ぶためです。

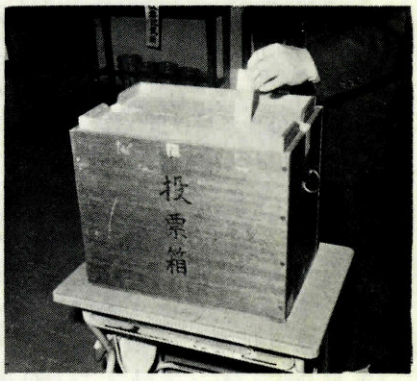
(2)選挙はどんな考え方で選ぶか。

自己中心の考え方ではいけない自分が政治を担当する気持になって考えること。

国民、県民、住民の幸福を真に考える代表を選ぶことです。

(3)選挙は明るく正しく行うこと。

町選管や明るい選挙推進協議会の指導により本町では、最近選挙違反もほとんどなくなり、同慶の至りですが、常にお互い有権者の心得が大切です。



(4)棄権してはならない。

自分一人ぐらいという考えで棄権することは、権利の放棄となり大きな悔を残します。

(5)義理人情の選挙は禁物です。

選挙権は、候補者の利益や義理人情によって、行使するものではありません。

選挙は正しい行政運営を依頼する代表者を決めるためにあります。

わたくしたち有権者は、是と非をわきまえ、勇気をもって事にあたることが肝要と思います。

有権者のみなさん。正しい自覚で、明るい選挙の推進を切望してやみません。

油谷町選挙管理委員会

◇選ぶ目が　生きて伸びゆく　地方自治

◇この一票　郷土の未来　ひらくカギ

◇投票で　豊かなあすの　まちづくり

こんにちは 保健婦です

風疹について

風疹は昔から「三日はしか」といわれて幼児から中学生がかゝることが多い病気ですが、大人になってかかる人もあります。「はしか」の軽い場合とよく似ていますが全く別の病気です。

大体二週間位の潜伏期間の後38度前後の発熱とともに赤い発疹が全身にびっしり現われ、多少のかゆみがあります。

そのほかに、耳のうしろ、後頭部、首などの、リンパ腺が腫れることと、目の結膜が充血し咳も出ますが、いづれも軽るく「三日はしか」の俗称のように大体三日位で発疹は消えます。この病気が大きく注目を浴びたのは妊娠初期に風疹にかかると、生れた子が風疹症候群といって、眼、心臓、などの奇形や聾などが高率であることが判明したからです。

予防対策としては、ワクチンがありますが、現在のところ製造中でおそらく今年の秋頃には出来る見込みです。このワクチンは特に有効であることが証明されています。妊婦さん特に妊娠初期（三カ月頃まで）の方は風疹患者に接近しないように充分に気をつけることが大切です。

▽受診希望者は長門保健所において毎月第二、第四火曜日午前九時～一一時まで受付検診が行われております。

◎火災発生の一般の方の電話による発生場所の問合せはご遠慮ください。

春の交通安全健民運動

4月6日～4月15日

今年も交通事故の絶滅を目的として『春の交通安全健民運動』が四月六日から一五日までの一〇日間全国一斉に実施されます。

今回は、歩行者（特に老人とこども）と自転車利用者の事故をなくそう、というのが大きなねらいです。

四月といえば、新入学のシーズンです。歩行者のうちでも新入学児童は今までほとんど歩いたことのない道路を利用して通学することになります。そこで通学を始めるに当って、どこがどういうふうに危険なのか親が一緒に学校まで往復して具体的に教え込んでおくことが必要です。

とくに道路を横断する場合、信号機のある交差点や、横断歩道のあるところなどは、こまやかな注意が必要でしょう。

一方、一般の歩行者は、交通ルールを守り新入学児童のお手本になってほしいものです。

自転車に乗る場合の交通ルールは、自動車の場合と同じです。

飲酒運転はもとより、かさをさしての運転や、ハンドルに重い荷物をかけての運転は絶対にやめましょう。

自転車ぐらいという油断が一番危険です。

私たちは、昨年一年間に約千人以上の方が、自転車の事故で死傷されていることを心にきざんでおきたいものです。

特に運動期間中は、日別重点を次のように定めて、安全思想を高めようとするものです。

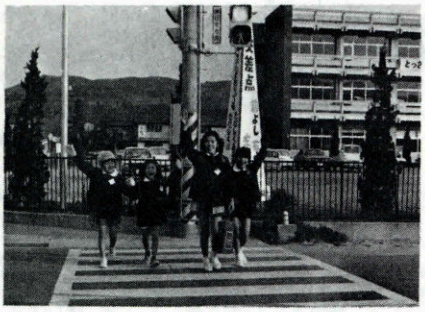
◇四月六日（火）
交通安全を呼びかける日

◇四月八日（木）
老人、こどもの安全を守る日

◇四月一〇日（土）
家族で交通安全を話し合う日

◇四月一二日（月）
二輪車（自転車を含む）を安全に利用する日

◇四月一四日（水）
職場を中心に安全運転を励行する日



交通安全年間スローガン

運転が　示すあなたの　お人柄
危ないと　子をしかるより　手を引こう
とび出すな　車のあとに　またくるま

中学校就職生徒 壮行会開催

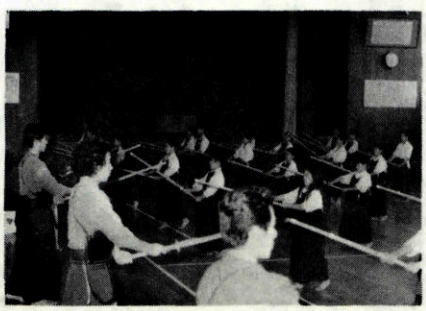
三月二日一〇時二〇分から油谷町中央公民館において、菱海中、向津具中から八名（男一名、女七名）の就職生徒を激励するため、壮行会が催されました。

会は、町長のあいさつ、自己紹介、記念品の贈呈、就職生徒代表謝辞と続き、町長、来賓を囲んで会食、映画鑑賞と、なごやかなふんいきのうちに、楽しいひと時を過しました。

写真は、代表して謝辞を述べる菱中上野正美さん。

『スポーツ教室』開設
―少年剣道教室―

社会体育の振興を目的とし、国県の指導行事として、油谷剣道スポーツ少年団の団員を対象に、二月一七日から三月一三日の期間毎週火・木・土の三日間全二〇時間に渡って「スポーツ教室」が開催されました。



この教室は、油谷小屋体で行われ、四〇名にのぼる少年・少女達が元気に参加し、剣道の基本から稽古試合まで行われ、心身の鍛錬に大いに成果を上げました。

写真は、素振りに励む豆剣子

ゴミ持出しに注意を
―焼却場でスプレー破裂―

先日、作業中のごみ焼却場で、スプレーが爆発し、作業員が負傷する事故が発生しました。ゴミ持出しには次のことに留意してください。

▼スプレー空かん類は**穴をあけ不燃物として**、不燃物収集日に持出すこと。

▼プロパンボンベの空容器は業者に責任を持って回収していただき、ゴミとして持出ししないこと。

▼ガラス瓶は不燃物として持出すこと。また、**密閉したまま持出ししないこと。**

『利用者が処理する気持で持出を!!』

昭和51年度　ごみ収集業務日割表

（週2回 水・土曜日）　（菱海　地区）

月別	収集日									計
4月	3	⑦	10	14	17	21	24	28	—	8
5月	1	⑤	8	12	15	19	22	26	29	9
6月	2	⑤	9	12	16	19	23	26	30	9

（週2回 月・木曜日）　（向津具・蔵小田地区）

月別	収集日									計
4月	1	⑤	8	12	15	19	22	26	29	9
5月	3	⑥	10	13	17	20	24	27	31	9
6月	3	⑦	10	14	17	21	24	28	—	8

（週2回 火・金曜日）　（宇津賀・川尻地区）

月別	収集日									計
4月	2	⑥	9	13	16	20	23	27	30	9
5月	4	⑦	11	14	18	21	25	28	—	8
6月	1	④	8	11	15	18	22	25	29	9

1．収集日は日割表のとおりですが各収集日の〇印の日には燃えないもの(空かん、空びん等)と燃えるもの(残菜、紙くず)なお、〇印以外の収集日は燃えるものだけの収集日とします。

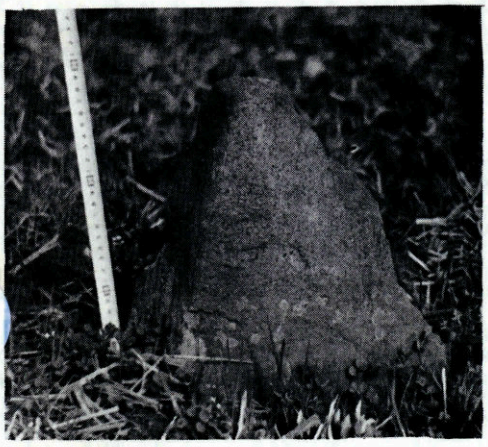
2．ごみ専用ビニール袋の必要な方は各農業協同組合購買部であっせんしていただいておりますのでご利用下さい。

町内めぐり 伝説の石 ④

烏帽子田の石

この石は大字蔵小田字天人の前（上蔵小田）の水田の中にある。

むかし、蔵小田に天人の住家があり、その前を通る者は深く頭を下げ、あいさつをして通行していた。ところが、ある日、日置の貴布祢さまが川を通行のおり、礼もあいさつもせずに通過されたのを怒り、天人はハッシとばかりに貴布祢さまを打たれた。打たれた貴布祢さまのエボシは二つに割れて飛び散った。（一つは大字蔵小田字鍋田の畑の中にある）そのエボシがこの二つの石になったという。



写真は天人の前の田の中にある烏帽子田の石

お知らせ

◎小型船舶の検査手続はお済みですか

ご承知のとおり、小型船舶（長さ12メートル未満但し手漕ぎを除く）も法律に基づく検査が義務づけられ、昭和49年9月から実施されていますが猶予期間も本年12月末日で終りとなります。

まだ検査を済ましていない船舶をお持ちの方は、早速手続きをされるようお知らせします。

▶ **連絡先**

下関支所　TEL(0832)67−7401
〒750　下関市大和町1丁目
漁港ビル西館17号室
九州海運局下関支所から

◎計量器定期検査の実施

計量法の規定により、計量器の定期検査が次のとおり行われます。検査の対象は、取引上又は証明上の計量に使用する**はかり、皮革面積はかり、自動ます**の三種類で、万一検査を受けないで、取引や証明に使用すると5万円以下の罰金に処せられることがありますから最寄りの場所で必ず検査を受けてください。

▶ **持参品**

はかり、印鑑、手数料

▶ **日時・場所**

4月12日　午後1時～3時まで　油谷町役場
4月13日　午前10時～12時まで　油谷町役場向津具支所
4月13日　午後1時半～2時半まで　川尻漁業協同組合
4月14日　午前10時～11時まで　油谷町役場宇津賀支所
4月14日　午後1時～3時まで　掛渕漁業協同組合

人口と世帯

51年2月末現在住民基本台帳

人口	12,135人	転入	33人
男	5,768人	転出	31人
女	6,367人	出生	15人
世帯数	3,290世帯	死亡	12人

納税案内

軽自動車税　全期納期　四月末日

『確定申告が間違っていたときは』

確定申告を済ませてホッとしておられることでしょう。ところで確定申告をしたが計算が間違っていたという方は、次の方法で訂正ができます。

◇税金を多く計算していたとき

間違って税金を多く計算していたとか、返してもらう税金が少なかったときは、納め過ぎの税金を返してもらうために「更正の請求」をすることができます。ただし、これは申告制限から一年以内となっています。

◇税金を少なく計算していたとき

所得の計算を間違ったりして税金を少なく計算していたときは、修正申告ができます。この修正申告はいつでもできますがなるべく早くされた方が有利です。

◇確定申告を忘れていたとき

うっかりして確定申告を忘れていた人は、今すぐ確定申告をしましょう。税務署の調査があってからでは、加算税も高くなります。

これらの用紙は税務署に用意してあります。

町内文芸

油谷短歌会

陰り陽に色を深めて夕凪の礁の肌を潮引きてゆく　境　勇

奥山に残雪見えて朝潮の網引く我の肌に厳しき　藤岡　豊

水平線をいまか離るる朝の陽に海の一部が発光体となる　岡林　啓一

翳りては冷えたちまちにもどりくる部屋に生きつつとぶ冬の蠅　油谷志津夫

灯の管の走るホームを離りつつ電車は深き闇に入りゆく　重村　弘之

油谷俳壇

課題「春の風邪」　蘭　添水選

春の風邪おして牛市牛買ひに　三宅よしえ

違約する受話器重し春の風邪　村上　有弘

電話声それと分りし春の風邪　中原　典子

置き薬飲んで旅立つ春の風邪　藤永千鶴子

仏事終へ心のゆるみ春の風邪　窪田　幸代

問ひ薬もらってすます春の風邪　吉村　節子

お初釜事なく果てて静もりし茶室に夫と薄茶をすする　林　はる

川柳

南極のクヂラあわれや腹の中

二柱忘れられても忘られず　平川　三照